

私たちのあゆみ

日本パーカライジングが、鉄の防錆加工で「りん酸塩化成処理技術」を導入したのは1928年のこと。日本初となる挑戦でした。以来、常に時代の先を見据え、飽くなき探究心と不屈の技術開発力で技術に磨きをかけ、表面改質分野のリーダーとしての地位を不動としました。今では自動車・鉄鋼・家電などの基幹産業から医療機器・航空宇宙などの最先端産業まで幅広くカバーし、社会になくてはならない企業となっています。

創業

1928年7月
米国パーカー・ラスト・ブルーフ社より技術導入



初の海外進出

1965年12月
台湾に中日金属加工(株)を設立

上場

1961年10月
東京証券取引所市場第2部に上場

1967年9月
東京証券取引所市場第1部に上場変更

創立50周年 海外展開

1979年6月
米国にツルテック(株)を設立

1979年7月
タイにタイパーカライジング(株)を設立

創立60周年

1987年5月
神奈川県平塚市に総合技術研究所を設置



売上高の推移

1928
※1980年以前は単体ベース

1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

売電事業を開始

2013年9月
現在、国内7拠点で稼働



2023年3月期
売上高
1,191 億円

技術提携

1988年5月
ヘンケル社(米国)と技術提携



2000年3月期
売上高
600 億円
連結子会社数
30社を突破

2008年3月期
売上高
1,000 億円を突破

新たな総合技術研究所が
2025年に開所予定



*計画中につき変更の可能性有り

表面改質技術を通じ
お客さまと信頼関係を築き、継続的に成長

技術変遷

1940年～
国産第1号のりん酸亜鉛皮膜剤を製品化

1990年～
多種製品を開発し、ブランド確立

2000年～
環境対応製品の開発成功により
表面改質分野のリーダーとしての地位を確立

1970年代～2010年代の自動車表面処理の変遷



さらにその先へ

日本パーカライジンググループは、今までも、そしてこれからも、グローバルに技術力を生かして、世界を取り巻く社会課題解決に貢献することにより、新たな価値を創造し続けます。

そこに表面がある限り、人々の暮らしや社会を支え続けていきます。